

令和3年度

事業報告書

NPO法人子どもアドボカシーをすすめる会TOKYO

1 事業の成果

令和3年度は、法人設立前から継続して実施している「子どもアドボカシーに関する勉強会」を通して普及啓発にとりくみ、それが弊会の会員拡大につながった。また、初めて法人の独自事業である「子どもの意見表明を支援する子どもアドボカイトの養成講座」を実施し、延93人の受講者と共に学ぶことができた。今後の訪問アドボカシー実践を担う人材の育成につながるとともに、子どもアドボカシーの普及啓発にも寄与する事業を実施できた。

さらに、杉並区との協働・連携による「子ども家庭支援センター職員研修実施」を実施することができたことは、地元での活動の基盤づくりに大きく寄与している。地元の関係者や関係機関に働きかけ、子どもアドボカシーの普及啓発、理解促進を図る地盤ができつつある。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【205】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
子どもの意見表明を支援する子どもアドボカイトの養成及び訪問等の実践	子どもの意見表明を支援する子どもアドボカイトの養成講座の実施(基礎講座)	R4年 2月26日 3月5日 3月19日	杉並区にある法人事務所及びリモート	18人	子どもアドボカイトに関心のある市民、関係者	延93人	125
子どもの権利及び子どもアドボカシーに関する普及啓発	子どもアドボカシーに関する勉強会2回開催(9回大妻女子大学 山本真知子氏)(10回子どもの声からはじめよう 川瀬信一氏)	R4年 1月22日 3月22日	杉並区にある法人事務所及びリモート	10人	子どもアドボカイトに関心のある市民、関係者	延68人	40
	杉並区との共催による、子ども家庭支援センター職員研修実施(4回のうち2回は区負担、2回が弊会負担)	R3年 12月6日 R4年 1月20日 2月16日 3月17日	杉並区にある法人事務所及びリモート	7人	子ども家庭支援センター及び関係機関職員	延72人	40